

寒川町総合計画「さむかわ 2020 プラン」の問題点・課題及び見直しの視点について

【従来の総合計画の問題点・課題】

- ①行政運営における重点施策や優先度が分かりにくい（総花的）
- ②社会経済環境の変化に十分に対応できていない
- ③住民満足度への寄与度が分かりにくい
- ④町民の関心が低い
- ⑤十分に町職員が活用していない
- ⑥個別計画との関係が分かりにくい。



【 見直しの視点 】

- I 優先度が明確な計画（総花的でない計画）
 - （ア）選択と集中、メリハリの効いた計画（行政資源の最適配分）
 - （イ）時代の変化に対応した戦略が明確な計画
- II 柔軟な計画
 - （ア）社会経済環境等の変化に応じて常に見直しのできる計画
- III 住民の満足度が向上する計画
 - （ア）住民が求めている事業等を盛り込んだ計画
 - （イ）住民満足度への寄与度が見える計画
- IV 町民が高い関心を持ち、町民と町の協働を推進する計画
 - （ア）住民意見を取り込み、共感できる内容の計画
 - （イ）町の特色を生かした計画
 - （ウ）手に取って見たいと思えるデザインの計画
 - （エ）町が何に力を入れ、何を目標に、何をするか明確な計画
 - （オ）同じ目標に向かって、町民と町がともに歩むことができる計画
- V 事業の検討・実施にあたり活用できる計画
 - （ア）施策や事業の構築手法が確立した計画
 - （イ）専門的知見や客観的データが的確に反映される計画
 - （ウ）コストを見える化した計画
- VI 総合計画と個別計画との関係が明確な計画
 - （ア）個別計画との関係が明確な計画
 - （イ）総合計画と個別計画の進行管理が重複しない計画